第27期

中間事業報告書

2006年1月21日～2006年7月20日

Takasho

証券コード7590

次世代の住環境を見据え、新しい庭文化を創造する。

私たちタカショーグループは1980年創業以来、ガーデニング＆エクステリアを心豊かな生活文化と捉え、“ハート＆アート”を基本テーマに様々な庭空間を皆様にお届けしてまいりました。それは暮らしに新鮮な風を吹き込み、庭での暮らしに関わるすべての人々の笑顔を育むライフスタイルのご提案に他なりません。

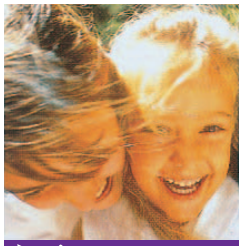
日本の四季やわびさびの美学が息づく、静寂で凛とした和の庭園づくり。自然の鮮やかな色彩を楽しむ、華やかな洋のガーデニング。アジアとヨーロッパの文化が重なり合うニュージャパネスクの世界……。私たちは国内外に広がるグループネットワークを活かし、地球規模であらゆるエレメントを融合させて、既存の枠を超えた独自の世界を創り上げ、永く受け継がれる空間づくりを目指してまいります。

また“自然と共生による循環型社会の実現”も私たちの大きなテーマのひとつです。リーディングカンパニーとしての誇りと責任を胸に、商品づくりはもちろん、企業活動全体の姿勢としてグループ一丸となって環境対応に取り組んでまいります。

Heart&Art

心 Heart

五つのこだわりに
真心こめて、
心がなごむ庭づくり



風 Wind

それは木々や草花を
揺らし、季節を運び、
人と自然を包みます。

光 Bright

それは世界を彩り、
夢を織りなし、
人と自然を照らします。

水 Stream

それは生命を吹き込み、
季節を充たし、
人と自然を潤します。

緑 Green

それは大地に根ざし、
大地を被い、
人と自然を癒します。

株主の皆様へ

代表取締役社長
高岡 伸夫

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援、ご高配を賜り誠にありがとうございます。このほど2006年1月21日から2006年7月20日までの「第27期中間事業報告書」がまとまりましたので、ここにご報告させていただきます。

Q タカショーの方向性についてお聞かせください。

A 当社が目指す方向性は「文化創造産業」です。

当社は1998年9月1日に株式上場させて頂き、はや9年目を迎えました。これも株主様のご理解、ご支援の賜物とありがたく感謝の気持ちで一杯です。

さて、我々の業界も、環境も、そしてマーケットも随分変わってまいりました。ガーデニングブームと言われた頃は、興味本位でガーデニングをする人がほとんどでしたが、今は、園芸という小さな枠から「庭での暮らし方」（リビングガーデン）という、人が生きていく上で切っても切れない「ライフスタイル」型がすっかり浸透し始めました。

さらに今後は、ビオトープと呼ばれる自然との共生や、美しい街並み、心の癒しといった当社の目指している「文化創造産業」へと大きく移行していっております。

そういった状況下において、当社は自社の成長だけでなく、ガーデン業界の発展とガーデニングをされる方に喜んでいただくことを原点としてまいりました。そのために蒔いてきた種がいよいよ花を咲かそうとしております。

販売活動においては、エクステリア、建材、プロ造園資材、ＨＣ（ホームセンター）、専門店、ｅ-コマース、通販と新雑貨店におけるブランド、ライフスタイル、スタイリッシュな商品デザインとサービスの総合性、プロ市場での現場一括提案、素早い別注対応、トータル供給などの体制が確立されてまいりました。他にも、今期、ＬＥＤの製造技術をもつ株式会社デジライトの100％子会社化や全国の庭施工店を組織化したリフォームガーデンクラブの会員数の拡大(約400社)、東アジアを中心とするタカショーグループによる、商品開発、製造、物流、情報力など様々な販売活動の基盤づくりが進んでまいりました。

人材面におきましては、現在、社員の半数以上が新卒採用者で構成されており、採用の基本理念として「ＩＱ（頭の指数）よりＥＱ（心の指数）」に重点を置いて採用した若いリーダーたちが活躍し、そこに創業時からの経験者と途中から参画した実力者とが切磋琢磨し、ますます力を発揮してくれると期待しております。

これらは、ガーデニング総合専業カンパニーとして唯一上場している当社への期待と責任が国内外に大きく膨れ上がってきていると感じております。

今までご支援、ご尽力いただいた株主様や問屋様、販売店様、工事店様、小売業様はじめ各分野の有力なお客様に恵まれたことが何よりの財産だと思っております。
これからも社会のお役に立ち続け、皆様のご期待にお応えできる企業として邁進してまいる所存でございます。

今後ともますますのご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

タカショーの事業展開

独自の商品開発力でガーデニング市場をリード

Global Network From Kainan

海外タカショーグループ

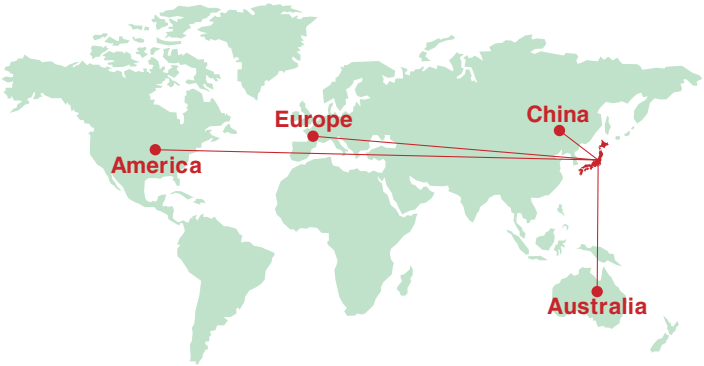
天津高秀国際工貿有限公司
佛山市南方高秀花園製品有限公司
広東高秀花園制品有限公司
上海高秀園芸建材有限公司
満洲里高秀木業有限公司
有限会社タカショー ヨーロッパ
株式会社タカショー ノースアメリカ
タカショーコリア有限会社
広州オフィス
上海オフィス
華東オフィス
台湾オフィス
シドニーオフィス

海外販売

●アメリカ ●イギリス ●イタリア ●オランダ
●ドイツ ●フランス ●中国 ●台湾

海外提携

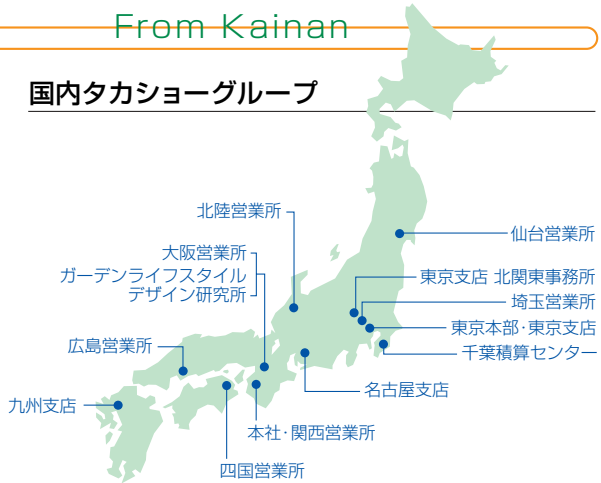
●アメリカ ●イギリス ●イタリア ●オランダ
●ドイツ ●オーストラリア ●台湾 ●スペイン



TAKASHO

本社には国内外からのマーケティング情報を集約するとともに、プランニング機能、物流システム開発から品質管理、人材開発、お客様支援サービスの整備に至るまでのコア機能を集約させ、世界のグループネットワークを動かしています。

国内タカショーグループ



ガーデンプラン

株式会社青山ガーデン
●ガーデンエクステリアにおけるデザインソフトの販売
●ガーデンの設計施工
●女性を中心にしたガーデンデザイナーの養成
●ガーデニングに関するセミナー及び教育
●ガーデン用品に関するオリジナル通販及びギフト販売

生産グループ

和歌山ガーデンクリエイト株式会社
●アルミ柱加工
●エバーバンブーフェンス製造
●合成竹組立
●別注商品製造及び輸入品二次加工
●商品開発及び改良

徳島ガーデンクリエイト株式会社
●エバーバンブーボード真空成型及び組立
●ラティス・ラフィードフェンス加工及び組立
●押出及び射出成型管理

奈良ガーデンクリエイト株式会社
●天然竹製品加工及び材料管理
●木製フェンス及び
連杭などの塗装加工
●輸入製品の品質管理

株式会社タカショーデジテック
●LED（発光ダイオード）照明機器の企画開発
●LED（発光ダイオード）サイン商品の企画開発

株式会社デジライト
●ディスプレイサインの企画・設計・製造・販売・設置工事

デザインプラン

株式会社日本インテグレート
●デザインの開発 ●印刷物の企画、制作

Market

●環境への取り組み

地球環境や人へのやさしさを追求しています。

▶3つのRへのこだわり

環境保全・再生に向けた環境産業への転換が地球環境再生への足がかりになると考えます。

リサイクル（繰り返し使える）Recycle

リデュース（長持ちする）Reduce

リユース（部分的に再利用）Reuse

▶ビオガーデン

人と自然とが共存しあえる、やすらぎのある水辺の空間をご提案しています。

●物流システム

お客様の様々なニーズにお応えするため、物流拠点、物流システムの充実を目指しています。

中央ロジスティックセンター

●情報サービス

新商品のお知らせや、エクステリア情報を発信しています。

ホームページ

Webカタログ

Web自動積算システム

http://takasho.jp

庭PRO

プロユース　PROガーデンエクステリア分野

緑化などの公共事業、戸建て、商業施設、ハウスメーカー様の企画・設計デザイン、施工部門などプロのお客様をトータルサポートいたします。

総合カタログ　カテゴリーカタログ

GADIS

ホームユース　ホームセンター・ガーデンセンター

DIYを基本とした庭づくりもお任せください。ホームユースブランドの「GADIS（ガディス）」はホームセンター向けの弊社ブランドです。

青山ガーデン
AOYAMA GARDEN CO., LTD.

e-コマース／通信販売

インターネットを通じて売買するe-コマースはお陰様で、年々知名度を上げております。今後はさらに商品アイテム数を拡充させ、お客様のご要望にお応えしてまいります。

タカショーリフォームガーデンフェア2006開催

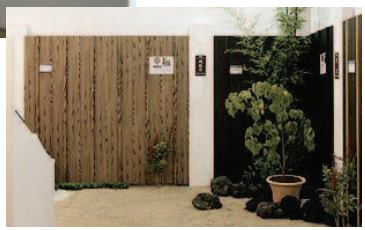
2006.7.7〜7.8　東京ビックサイト

「タカショーリフォームガーデンフェア2006」を7月7日・8日の2日間にわたり東京ビックサイトにて開催いたしました。

3回目となる今回は、最大規模の2,800㎡。

「リビングガーデンの楽しみ方」をメインテーマに、アプローチ・パティオ・リビングガーデンなど、空間を実感できるサンプルガーデン等を展示しました。

特に注目を集めたのは、エバーアートウッドです。今年から新色を追加し、全32色を取り揃えました。中でも、昔ながらの和風住宅を思わせる「黒炭」と「焼板目」の2色が好評でした。また、今年6月に全株式を取得した株式会社デジライト（右ページ参照）によるディスプレイサインの展示、癒しの効果を追求した「1/f庭ゆらぎ」シリーズも多くの関心を集め、約5,000名のプロユーザーにご来場いただき大盛況のうちに閉幕いたしました。



『第1回 タカショーリフォームガーデンクラブ全国交流会』を開催

「タカショーリフォームガーデンフェア2006」同日（7月7日）夕刻より、「第1回 タカショーリフォームガーデンクラブ全国交流会」を開催いたしました。全国から約180名の会員の皆様に出席を賜り、開催時間を延長しての活気あふれる会となりました。

今回特別記念セミナーとして、テレビ朝日系全国ネット『大改造！劇的ビフォーアフター』に2度出演された、有限会社伊藤道代建築設計事務所　代表取締役　伊藤道代様にご講演いただきました。講演の中で伊藤様は「常に意識していることはいかにお客様のこだわりを形にできるかです。具体的には、『庭は建物（リビング）の延長線上にある空間』であり、室内から見た庭の美しさと快適さを優先にプランしています。」住む人の視点に立つ大切さを訴えられました。当社が最も注力しておりますリビングガーデンの提案がこれからますます重要になってくる事を再認識するとともに、全会員の共通認識としての目指すべき方向を提示していただきました。

タカショーリフォームガーデンクラブは、これからもこのような交流会を設け、お客様が何を求めているかを知るための情報交換の場として、業界の発展のため邁進してまいります。

株式会社デジライトを子会社化

2006年6月27日、高輝度LED（発光ダイオード）を使用した公共・商業施設向けの大型・中型・小型ディスプレイサインの企画・設計・製造・販売・設置工事を得意分野とする株式会社デジライト（代表取締役　小林和夫）の全株式を取得し、子会社化いたしました。

LEDの発明は照明市場に大きな変革を起こしました。その特徴をひとことで言えば従来の素材とは比べものにならない、省エネ・長寿命にあるでしょう。しかし、素材の面での変革を第一次LED革命と呼ぶとすれば、今、第二次革命が始まっています。それはLEDという素材を活かした空間の色鮮やかな演出と省エネ・省コストという実用面をベースにして生活や社会を彩る「光の文化」が大きく変わろうとしています。

今年8月1日に発売を開始した新商品「1/f庭ゆらぎ」シリーズでは和歌山大学システム工学部と産学共同研究を行い、機械的でない不規則なゆらぎをLEDで実現。眺める人の心を和ませ、また情緒ある空間を演出します。

今後タカショーはデジライトが持つ製造技術を活かし、公共・商業施設向けのLEDサイン分野とガーデンライティング分野での事業展開を拡張いたします。

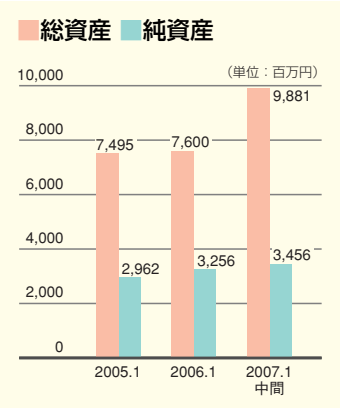
中間連結財務諸表（要約）

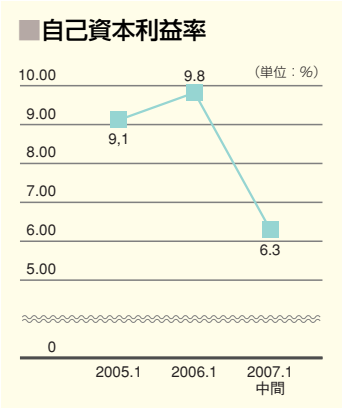
貸借対照表

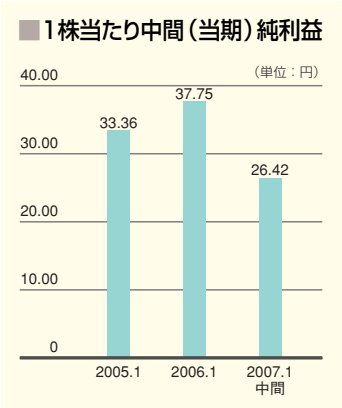
（単位：百万円）

科　目	第27期中間 2006年7月20日現在	第26期中間 2005年7月20日現在	第26期 2006年1月20日現在
●資産の部			
流動資産	7,400	7,324	5,538
固定資産	2,481	2,012	2,062
有形固定資産	1,765	1,454	1,464
無形固定資産	126	35	33
投資その他の資産	589	522	564
資産合計	**9,881**	**9,336**	**7,600**

科　目	第27期中間 2006年7月20日現在	第26期中間 2005年7月20日現在	第26期 2006年1月20日現在
●負債の部			
流動負債	4,894	4,922	3,309
固定負債	1,531	1,192	1,011
負債合計	**6,425**	**6,114**	**4,321**
少数株主持分	—	**25**	**22**
●資本の部			
資本金	—	463	463
資本剰余金	—	486	486
利益剰余金	—	2,273	2,317
その他有価証券評価差額金	—	5	7
為替換算調整勘定	—	△2	12
自己株式	—	△31	△31
資本合計	—	**3,196**	**3,256**
負債、少数株主持分および資本合計	—	**9,336**	**7,600**
●純資産の部			
株主資本	3,389	—	—
資本金	463	—	—
資本剰余金	486	—	—
利益剰余金	2,470	—	—
自己株式	△31	—	—
評価・換算差額等	29	—	—
その他有価証券評価差額金	1	—	—
繰延ヘッジ損益	15	—	—
為替換算調整勘定	12	—	—
少数株主持分	36	—	—
純資産合計	**3,456**	—	—
負債および純資産合計	**9,881**	—	—







注）当社は2004年9月13日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。
当該分割が過年度に行われたと仮定して再計算しております。

損益計算書

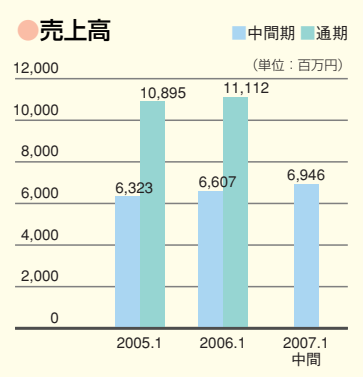
（単位：百万円）

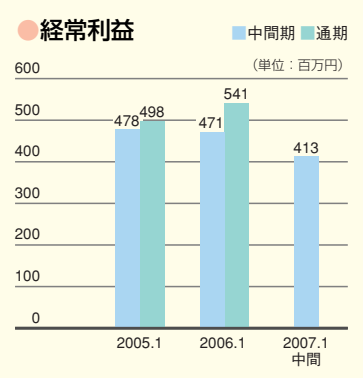
科　目	第27期中間 2006年1月21日から 2006年7月20日まで	第26期中間 2005年1月21日から 2005年7月20日まで	第26期 2005年1月21日から 2006年1月20日まで
売上高	6,946	6,607	11,112
売上原価	3,950	3,653	6,120
売上総利益	**2,996**	**2,953**	**4,991**
販売費および一般管理費	2,547	2,476	4,463
営業利益	**448**	**476**	**528**
営業外収益	18	22	71
営業外費用	53	28	57
経常利益	**413**	**471**	**541**
特別利益	13	2	8
特別損失	16	9	16
税金等調整前中間（当期）純利益	**410**	**464**	**534**
法人税、住民税および事業税	165	202	202
法人税等調整額	13	△ 9	18
少数株主利益	18	10	8
中間（当期）純利益	**213**	**261**	**305**

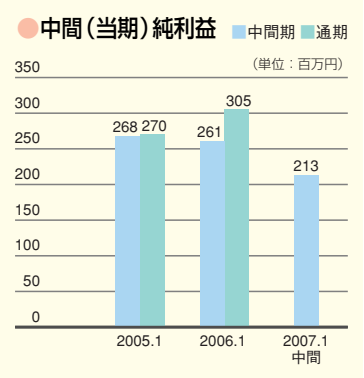
キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科　目	第27期中間 2006年1月21日から 2006年7月20日まで	第26期中間 2005年1月21日から 2005年7月20日まで	第26期 2005年1月21日から 2006年1月20日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 52	△ 208	152
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 487	△ 189	△ 559
財務活動によるキャッシュ・フロー	768	390	190
現金および現金同等物に係る換算差額	△ 1	3	18
現金および現金同等物の増加額	228	△ 3	△ 197
現金および現金同等物の期首残高	1,035	1,232	1,232
現金および現金同等物の中間期末（期末）残高	1,263	1,228	1,035







中間個別財務諸表（要約）

貸借対照表

（単位：百万円）

科　目	第27期中間 2006年7月20日現在	第26期中間 2005年7月20日現在	第26期 2006年1月20日現在
●資産の部			
流動資産	6,051	6,370	4,426
固定資産	2,355	1,968	1,974
有形固定資産	1,256	1,122	1,088
無形固定資産	29	25	23
投資その他の資産	1,068	820	863
資産合計	**8,406**	**8,339**	**6,401**
●負債の部			
流動負債	4,600	4,642	2,937
固定負債	1,218	1,174	940
負債合計	**5,818**	**5,816**	**3,877**
●資本の部			
資本金	—	463	463
資本剰余金	—	486	486
利益剰余金	—	1,597	1,596
その他有価証券評価差額金	—	5	7
自己株式	—	△31	△31
資本合計	—	**2,522**	**2,523**
負債および資本合計	—	**8,339**	**6,401**
●純資産の部			
株主資本	2,570	—	—
資本金	463	—	—
資本剰余金	486	—	—
利益剰余金	1,651	—	—
自己株式	△31	—	—
評価・換算差額等	17	—	—
その他有価証券評価差額金	1	—	—
繰延ヘッジ損益	15	—	—
純資産合計	**2,587**	—	—
負債および純資産合計	**8,406**	—	—

損益計算書

（単位：百万円）

科　目	第27期中間 2006年1月21日から 2006年7月20日まで	第26期中間 2005年1月21日から 2005年7月20日まで	第26期 2005年1月21日から 2006年1月20日まで
売上高	6,302	6,210	10,604
売上原価	3,921	3,723	6,393
売上総利益	**2,381**	**2,486**	**4,210**
販売費および一般管理費	2,154	2,198	3,935
営業利益	**226**	**288**	**275**
営業外収益	36	30	71
営業外費用	47	27	52
経常利益	**215**	**292**	**294**
特別利益	1	2	9
特別損失	16	3	9
税引前中間（当期）純利益	**199**	**291**	**294**
法人税、住民税および事業税	75	125	107
法人税等調整額	8	△10	11
中間（当期）純利益	**115**	**176**	**175**
前期繰越利益	—	758	758
中間（当期）未処分利益	—	**935**	**934**

会社の概要／株式の状況（2006年7月20日現在）

会社の概要

商号	株式会社タカショー TAKASHO CO., LTD.
本社	和歌山県海南市阪井489番地
設立	1980年8月
資本金	463,960,704円
従業員	232名（134名） （　）内は臨時雇用者数であり、年間の平均人数を記載しております。

主力販売商品

- ◆ ガーデニングフェンス
  （人工竹木フェンス関連商品・天然竹木フェンス関連商品）
- ◆ 庭園資材（緑化資材・ガーデンファニチャー・人工植物関連商品）
- ◆ 照明機器（ガーデンライト商品）
- ◆ 池・滝・噴水
- ◆ その他（坪庭・プライベートブランド商品等）

主要な事業所

本社	和歌山県海南市	華東事務所	中国東陽市
東京支店	東京都千代田区	上海事務所	中国上海市
名古屋支店	愛知県東海市	広州事務所	中国広州市
九州支店	福岡県筑後市	台湾事務所	台湾高雄市
仙台営業所	宮城県仙台市	オーストラリア事務所	オーストラリアシドニー
北関東事務所	群馬県伊勢崎市		
埼玉営業所	埼玉県坂戸市	ガーデンライフスタイルデザイン研究所	大阪府大阪市
北陸営業所	石川県金沢市		
大阪営業所	大阪府大阪市		
広島営業所	広島県東広島市		
四国営業所	徳島県吉野川市		
千葉積算センター	千葉県君津市		

役員

代表取締役社長	高岡伸夫	取締役	岡室宏之
常務取締役	平松　昇	監査役（常勤）	増川昭夫
取締役	高岡淳子	監査役	足立昌彦
取締役	丸山野行信	監査役	宮尾文也
取締役	寒川　浩		

株式の状況

発行可能株式総数	26,000,000株
発行済株式の総数	8,279,814株
当中間期末株主数	4,101名

大株主（上位10名）

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
高岡伸夫	2,935千株	35.46%
タカショー社員持株会	383	4.63
ビーエヌピーパリバセキュリティーズサービスパリスジャスデックフランス	243	2.94
岡室宏之	203	2.45
株式会社三菱東京UFJ銀行	194	2.35
高岡マサエ	176	2.13
小倉貿易株式会社	160	1.94
竹田和平	160	1.93
新神戸電機株式会社	158	1.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	154	1.87

※注 当社は自己株式188,304株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。

株主メモ

事業年度	1月21日から翌年1月20日まで
決算期	1月20日
配当金	1月20日現在の株主、中間配当実施の時は7月20日現在の株主に、それぞれ配当します。
定時株主総会	4月
公告方法	日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社　証券代行部
（郵便物送付先）	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	（住所変更等用紙のご請求）0120-175-417 （その他のご照会）　0120-176-417
（インターネットホームページURL）	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
同取次所	住友信託銀行株式会社　全国各支店

特典1 タカショーオリジナルカレンダープレゼント

特典2 ご所有株数1,000株以上で自社商品プレゼント

特典3 自社カタログ掲載商品を割り引き販売

ガーデニングに関するお役立ち情報をお届けします。

特典4 タカショー庭通信プレゼント

特典5 ご所有株数100株以上1,000株未満で種苗プレゼント

特典6 年に一度タカショーイベントにご招待！

● 但し、交通費は実費となりますので、ご了承ください。

Takasho

株主優待のお知らせ

当社は株主優待制度として、庭のお好きな方や、これから庭を楽しみたい方にさらにご満足いただける「タカショーガーデン友の会」を発足いたしました。目的は、当社を通じ豊かな時代を創るオーナーとして、21世紀の環境づくりに参加していただき、なお且つガーデニング人口を増やしていこうという考えも入っております。今後とも、より一層のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

(注) 特典2、5、6については、毎年1月20日の株主名簿及び実質株主名簿に記載または記録された株主様のみとなります。

株式会社 タカショー

本社 和歌山県海南市阪井489番地 〒642-0024

TEL 073-487-0165(代表) FAX 073-487-2313 ホームページ http://takasho.jp

R100 古紙パルプ配合率100%再生紙

PRINTED WITH SOY INK